

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 90

今月のテーマ

大学等の進学における教育資金の事前準備を…

高校進学、大学進学等で受験生およびご家族の皆さんにとっては考えることの多い時期となりました。志望校への合格も然ることながら、かかる費用についても具体的にしなければならず、頭の痛いことの一つですね。

秋田県の大学進学率は、平成26年の統計で44.4%、全国平均では53.8%で10%近い差が開いている。秋田県の子どもの学力水準の高さは全国でもトップクラスにありながら、なんと勿体ないことか…。力のある者がその力を生かせないのは、まことに残念だ。秋田県民は学力も然ることながら勤勉さでも定評があり、この二つの融合は日本の国にとっても宝である筈だ。

では、進学率の低さの要因はどこにあるのだろうか…？秋田県の子どもの学力が進学の意欲や意思がないとは思えないし、原因の中の何かが変われば伸びる要素は有るに違いない。

大学進学を目指す理由の上位を見てみると

- ①将来の仕事に役立つ勉強がしたいから
- ②専門的な研究がしたいから
- ③幅広い教養を身に着けたいから

と続くが、これらの理由は秋田県民も負けてはいないはずだ。

大学進学者の環境を覗いてみると、両親が大学を出ている家庭では、その子どもも大学に進む傾向が強い。また、保護者の子どもへの接し方や教育意識も子どもの学力に影響を与えているようだ。経済的な面からみると、両親の所得が高い世帯ほど4年制大学への進学率は高くなっていて、所得格差が教育格差を生んでいることも事実だ。その格差を埋めるため、また負の連鎖を断ち切るためにも志のある子どもの進学率を高めていきたいものだ。

まずは保護者が進学への理解と、経済的な問題を解決するための情報と知識を待たなければならない。目標が定まっていれば、それにかかる費用が見えてくるし、あとは逆算的にどう調達するかを考えれば良い。経済的な問題の解決方法は家庭内だけではなく、様々な制度を複合的に組み合わせることも出来る。それを一緒に考察してみよう。



●教育資金でつまづかないために

受験シーズンに突入し国公立が目標ではあるものの、それが叶わなかった事態に備え、私立も志願しているケースが少なくない。可否の発表は国公立より早い段階、早い時期での入学金の納付を求められる。国公立の発表まで待つと言いたいところだが、納付しないと合格の権利は保持できない。慌てて資金調達に奔走する方もいる。分かっていそうなのだが、意外にも一連の必要資金が把握されていないことも多いようだ。また、4年制の大学ではないものの、「とりあえず専門学校」を志望し、入学の段階になってから、授業料の他に教材や道具の費用に大慌てするということも少なくない。いずれにしても、進路に沿った必要資金をまずは把握し、その調達方法を決めておかなければならない。何とかするだろうと、見切り発車で進学はしたもの、資金が枯渇し泣く泣く中途退学するケースも後を絶たない。それだけでは何とか回避せねばならない。状況によっては、様々な支援制度もあるし抱え込まないで先ずは情報収集と、しかるべき機関への相談をすることが重要だ。

●「経済的理由」が最大の要因

平成26年9月の文科省より報道発表された平成24年度「学生の中途退学や休学等の状況について」によると、大学等の中途退学者の総数は、全学生数（中途退学者、休学者を含む）299,157人のうち26.5%（平成19年度比0.24ポイント増）で実に79,311人にもぼる。その中でも、経済的理由による者が最も多く、20.4%（平成19年度比6.4ポイント増）を占め、16,181人だった。その他の理由では、転学



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかず)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®ローティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート
秋田県秋田市泉北3丁目17-22

TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL http://tls-akita.co.jp

● 紳士服のコナカ

● エネオス

● マクドナルド

● かんきょう

● 洋服の青山

詳細はホームページでもご覧いただけます。

